2023年

9月定例会

９月定例会審議結果 …… 4

紙上中継 …… 5

９月定例会一般質問
（町政をただす） …… 6

あれからどうなった？
（一般質問のその後は） …… 12

こんにちは 石川町議会です

発行／石川町議会　　編集／広報常任委員会

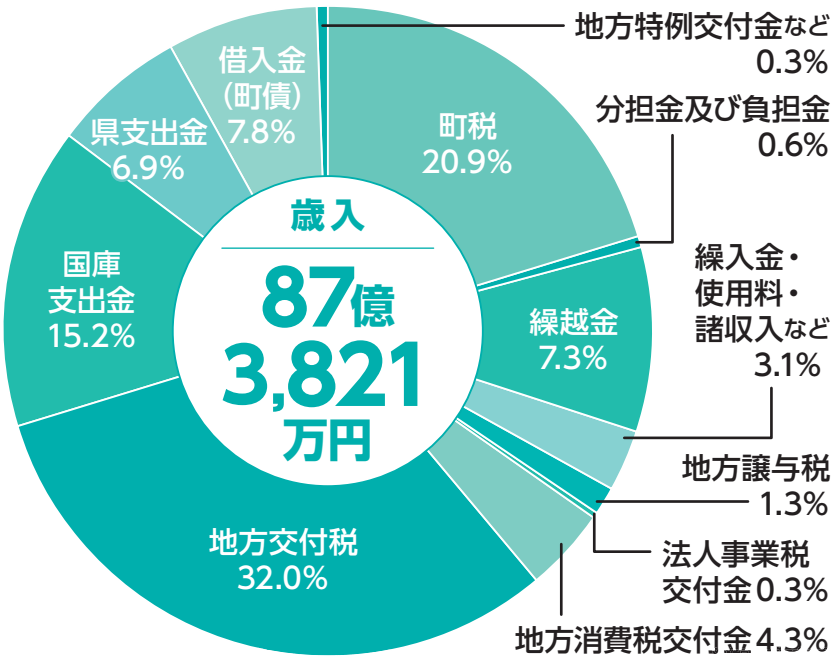
写真／中田農園での小学生農業体験10年以上続いています。
中谷まちづくり委員会・中田里づくり

石川町
ホームページ

No.220
令和5年
12月1日

はどう使われたのか

決算審議



令和５年９月定例会は、９月28日から10月10日までの13日間の会期で決算審議を中心に開催されました。

初めに、令和４年度健全化判断比率、資金不足比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の一部改正及び補正予算などを審議し決定しました。

一般質問には５人の議員が登壇し、34人の傍聴者がありました。

令和４年度　会計別決算審議

（万円未満は四捨五入）

会計別		歳　入	歳　出	歳入歳出差引額	採決	賛・反
一般会計		87億3,821万円	81億7,765万円	5億6,056万円	認定	全員賛成
特別会計	国民健康保険	16億529万円	15億6,572万円	3,957万円	認定	全員賛成
	後期高齢者医療	1億9,765万円	1億9,312万円	453万円	認定	全員賛成
	介護保険	18億2,036万円	17億1,253万円	1億783万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	1,884万円	32万円	1,852万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	1,375万円	19万円	1,356万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1,647万円	321万円	1,326万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	249万円	199万円	50万円	認定	全員賛成
水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金760万円は、建設改良積立金に積み立てをする			可決及び認定	全員賛成
	収益的収支	3億6,061万円	3億3,641万円	2,420万円		
	資本的収支	2億9,820万円	3億9,853万円	△1億33万円		

（水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補てんした。）

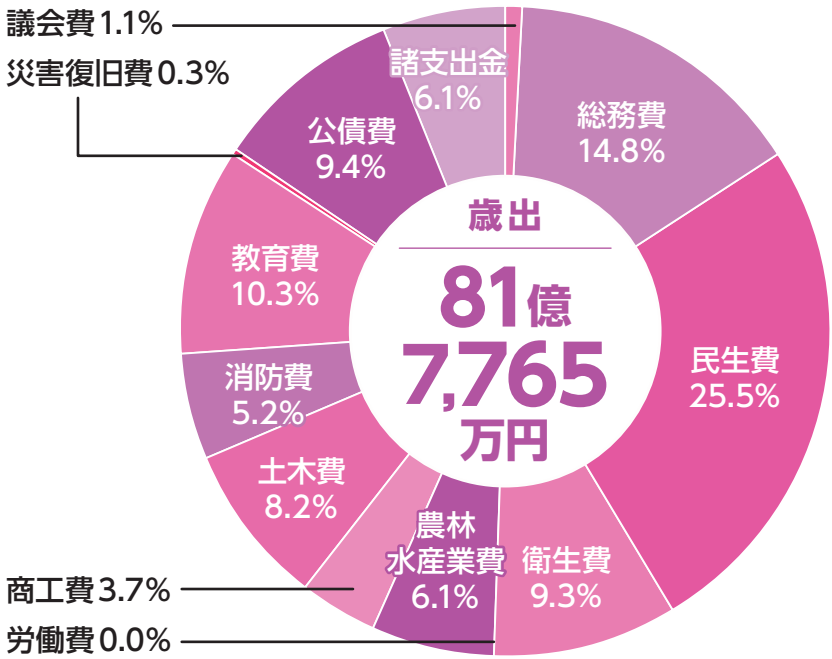
令和４年度主な事業

- 子育て・若者世帯住宅取得補助事業
- 保育施設整備事業
- 給食費補助事業
- 道の駅整備事業
- 農業施設管理事業
- 道路新設改良事業
- ドクターヘリ離着陸場整備事業
- 橋りょう維持補修事業
- 河川浚渫推進事業
- 歴史民俗資料館整備事業
- 温水プール施設改善事業

その他、さまざまな事業に使われました。

4年度 一般会計 特別会計

総額116億5,400万円



決算審査報告

代表監査委員　郷　隆雄
監査委員　菊池美知男

【審査結果】

令和4年度決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを7日間審査し、各会計とも決算の根幹については適正に処理されていることを確認しました。

また、地方公共団体財政健全化法に基づく財政指標については、実質公債費比率は前年度に比べ増加し、将来負担比率は減少していますが、いずれも早期健全化基準を大きく下回っていることを確認しました。

【審査意見】

財政指標が健全な水準を保っているとはいえ、これが将来的な財政運営の安定性を保証するものではなく、今後の税収、交付税の動向によっては、財政状況は大きく変動することも予想されます。

このようなことから、今年度策定する財政計画では、町税や交付税について様々な角度から想定を行い、歳入見通しを把握することで、今後の各種事業の計画にあたり、過大な将来負担が発生しないような財政規律の確立に努めていただきたいと思います。

また、収入未済額については、前年度と比較すると総体的には減少していますが、まだ多額の徴収すべき財源が残っています。徴収業務にあたり、努力されていることは理解していますが、現状での徴収体制では限界があるとすれば、これを再度精査し、新たな視点での体制構築の検討も必要なのではないでしょうか。

少子高齢化や人口減少の進展など、厳しい状況が続くと思われますが、目標を正確に見定め、各般の施策展開と効率的・効果的かつ確実な事務事業の執行を望みます。

令和４年度石川町健全化判断比率について（報告）

区　分	早期健全化比率	令和３年度（参考）	令和２年度（参考）
①実質公債費比率（３年間平均）	**5.2%**（早期健全化基準25.0%）	5.0%	4.6%
②将来負担比率	**6.0%**（早期健全化基準350.0%）	15.7%	26.8%
③実質赤字比率	**黒字決算のため算定なし**	―	―
④連結実質赤字比率	**黒字決算のため算定なし**	―	―

＊①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

令和４年度石川町資金不足比率について（報告）

区　分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

令和5年9月定例会

議案　審議結果

議案番号	議案・請願・発議	審議結果	
議案 第63号	石川町役場庁舎等建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決	全　員
議案 第64号	石川町税特別措置条例の一部を改正する条例	原案可決	全　員
議案 第65号	令和４年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第66号	令和４年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第67号	令和４年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第68号	令和４年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第69号	令和４年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第70号	令和４年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第71号	令和４年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第72号	令和４年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認　定	全　員
議案 第73号	令和４年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認　定	全　員
議案 第74号	令和５年度石川町一般会計補正予算（第５号）	原案可決	全　員
議案 第75号	令和５年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決	全　員
議案 第76号	令和５年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決	全　員
議案 第77号	令和５年度石川町介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	全　員
議案 第78号	令和５年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	全　員
議案 第79号	路線の町道認定について	原案可決	全　員

議案 第74号

認定こども園建築工事費９億５９００万円を可決

一般会計補正予算第５号の主なもの

今回の補正は、認定こども園建築工事の事業費に９億５９００万円、教科書改訂に伴う指導用教科図書及び指導書、教材購入に１９００万円、町道における転石・落石対策に６５０万円を計上したほか、前年度の決算剰余金の一部を基金へ積立てるため、財政調整基金積立金、減債基金積立金及び公共施設保全基金積立金に所要額を計上したものです。

紙上中継

予算決算審査特別委員会

◆令和4年度決算では

Q 石川町の地方債残高は75億円を超えている。健全な財政運営と言えるのか？

A 石川町の令和4年度末の地方債残高の合計は75億3000万円あまりで、前年と比較しても約7300万円減少しています。その内訳は、臨時財政対策債が約25億円、過疎対策事業債が約18億円、その他の町債が32億円となっています。その内、償還にあたり、臨時財政対策債は100%、過疎対策事業債は70%の地方交付税措置が見込まれるため、地方財政の健全性を判断する指標である実質公債費比率及び将来負担比率のいずれも国で示している早期健全化基準を大きく下回っていることから、健全な財政運営が行えているものと考えています。

◆口座振替による納税（4億2320万円）

Q 口座振替による納付が増加している要因は？

A 令和4年3月末において石川町納税組合連合会が解散したことから、口座振替による利用者が増加しています。

◆高齢者へのタクシー・温泉券を助成

Q 75歳以上の高齢者に対するタクシー・温泉券の利用状況は？

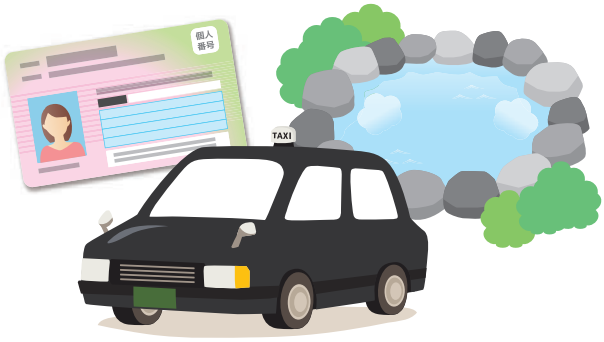
A 対象者2千265人に対し767人の申請があり、タクシー券については3482回の利用で372万4000円の助成を行いました。また、温泉券利用は、633枚の利用で31万7000円の助成となっています。

◆マイナンバーカード交付率（80・48%）

Q マイナンバーカードの交付状況はどうか？

A マイナンバーカードの交付は令和5年9月末現在で、1万366人、交付率80・48%となっています。水曜日の延長窓口申請や出張申請などの効果もあり、国県の平均交付率を上回っています。

なお、マイナンバーカードを利用した令和4年度中のコンビニでの交付は、住民票が551件、印鑑証明が408件など、カードの利活用が増加しています。



一般質問 町政をただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。今回は5名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。（質問の一部を割愛しています。）詳細については、各議員のタイトル横の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧いただけます。

根本　重泰　議員　P7

◆今後、放課後児童クラブ希望者は増えると思うが、その対応は
◆道の駅オープンに合わせて石川バイパスの全線開通を
◆石川バイパスの宅地・田畑周辺法面の除草、雨水があふれる水路の対策は

鈴木　義延　議員　P8

◆飼料等の高騰による畜産市場の低迷の中、生産者への支援は
◆脱炭素社会、IoT（モノのインターネット）、DX（デジタル改革）、インボイス制度に係る製造業への支援は
◆高齢者へのセキュリティ対策支援は
◆買い物等支援ミニバスの利用状況は

星　恵子　議員　P9

◆政治分野における男女共同参画の推進
◆小学校の統合にかかる放課後児童クラブ
◆児童虐待防止
◆女性に対する暴力や虐待防止

菊池美知男　議員　P10

◆経済的弱者に対しての本町の取り組みについて
◆将来を見据えた健全財政計画について

増子美知夫　議員　P11

◆国が半額補助する高齢者のゴミ出し支援の考えは
◆町の主要施策でもある若い世代の定住促進政策としての小規模宅地造成事業について

Q 放課後児童クラブ希望者の受け入れは

質問者の動画が見られます

A 要件を満たす児童は、全員受け入れます

根本（ねもと）　重泰（しげやす）　議員

質問 今後、放課後児童クラブ希望者は増えると思うが、その対応は。

答弁 国では、児童クラブの要件を満たす児童については、全員受け入れる方針です。石川町も令和6年度は、待機児童ゼロに向けて、活動場所の拡大や支援員の早期募集などを行い、受け入れ体制を整えていきたいと思います。

質問 道の駅オープンに合わせて石川バイパスの全線開通を。

答弁 県から岩盤の掘削が難航している中、新しい工法で岩盤を削るとの情報が入りましたので、令和6年度中に開通できるものと考えております。道の駅オープンの令和7年度までには、開通できるように働きかけていきたいと考えています。

住宅地の隣がこれでは？

質問 石川バイパスの宅地・田畑周辺法面の除草、雨水があふれる水路の対策は。

答弁 県では、県道の水路の一部改修、法面の除草を車両や歩行者の通行の支障とならない範囲で実施しています。石川バイパスの法面の除草を行うことは難しい状況なので、県事業の「うつくしまの道・サポート制度」の活用により、県、町、地域住民の皆さまと連帯してバイパス周辺の環境整備に取り組んでいきたいと考えています。

要望 県の事業であっても、町民が頼りにするのは町です。間に入って問題解決に努力していただきたい。

質問 公約である「おせっかいクラブ」事業の現状は。

答弁 活動が停滞している状況にあることから、事業のPR強化やサポーター同士による意見交換会の開催など、新たな事業の展開を図っていかなければならないと考えています。

Q 飼料等高騰は畜産農家の経営を圧迫しているが、その対策は

A 助成金の準備を進めています

質問者の動画が見られます

鈴木（すずき） 義延（よしのぶ） 議員

質問 飼料等の高騰による畜産市場の低迷の中、生産者への支援は。

答弁 令和４年度は、町単独事業として８４７万円の助成。同様に今年度は、８５２万円の予算を確保しています。手続きを経て、今年10月には畜産業への支援を実施する予定です。

質問 脱炭素社会、ＩoＴ（モノのインターネット）、ＤＸ（デジタル改革）、インボイス制度に係る製造業への支援は。

答弁 製造業を含む民間企業に対して、脱炭素社会の構築、ＩoＴ並びにＤＸの支援については、国、県及び関係機関から多くの情報が発出されているので、情報提供など周知の徹底に努め、関係機関と連携が図れるよう支援します。また、インボイス制度の支援は、商工会を相談窓口として、事業者を対象に情報提供を実施しています。

質問 高齢者へのセキュリティ対策支援は。

答弁 本町では、高齢者世帯等の増加に伴い、在宅で生じる不安、急病や事件、事故などの緊急対応のため、高齢者が自宅で24時間連絡が取れる緊急通報システムの設置に対し助成しています。

質問 買い物等支援ミニバスの利用状況は。

答弁 買い物等支援ミニバス実証運行は、令和４年12月から実施、運行開始から今年８月末までの９か月間の累計登録者数は95人、延べ乗車数７７５人となっています。６月からは、商業施設の他、公共施設への移動も可能となり、買い物に限らず、高齢者サロンへの移動にも利用できるなど、高齢者の外出支援として定着してきています。今後も、本事業のＰＲを積極的に行い、利用者増加を図ります。

高騰する飼料

買い物等支援ミニバス

Q「子どもの権利条例（仮）」制定は

A 法的根拠となるものであり、制定に向けて検討を進めます

質問者の動画が見られます

星（ほし） 恵子（けいこ） 議員

◆政治分野における男女共同参画の推進

質問 女性議員の4人誕生がもたらす変化は。

答弁 過去になかったこと。審議会や委員会等の女性の登用に弾みがつくと考えます。

質問 男女共同参画に向けた町の取り組みは。

答弁 令和2年に「男女共同参画プラン」を見直し、女性職員のキャリア形成の支援も積極的に行っています。

◆小学校の統合にかかる放課後児童クラブ

質問 統合の見通しは。

答弁 遅くとも令和8年度には統合したい。

質問 放課後児童クラブの運営の見通しは。

答弁 来年度から待機児童をゼロにするとともに、統合後の受け入れ態勢の整備に向けても、早期の把握に取り組みます。

◆児童虐待防止

質問 児童虐待防止に向けた町の施策は。

答弁 来年度創設予定のこども家庭センターで、相談支援機能を一本化します。

質問 「子どもの権利条例（仮）」制定は。

答弁 町が子育て支援施策を継続して推進していくための法的根拠となるものと考えますので、制定に向けて検討を進めたいと思います。

要望 子どもは人格を持つ権利の主体者であり、応援宣言と両輪の形で条例の策定をすすめてほしい。

◆女性に対する暴力や虐待防止

質問 周知を図る予定は。

答弁 定期的に講演会等を行い、暴力や虐待防止に関する意識の醸成と正しい知識の普及に努めます。

質問 暴力や虐待を許さない継続的発信は。

答弁 広報いしかわに、男女共同参画の意識の啓発記事を毎月掲載しています。

要望 暴力や虐待を許さず、だれにとっても安心・安全な町であるというアピールを、今後も積極的・継続的にすすめていくことを期待します。

だれでも、どこからでも遠慮せず

Q 紙おむつ支給事業の給付額は

質問者の動画が見られます

A 現在の給付額を見直す検討を進めます

菊池美知男（きくちみちお） 議員

◆経済的弱者に対しての本町の取り組みについて

質問 高齢者等低所得者に対する支援策は。

答弁 生活支援の必要な方、相談したい方については、町の社会福祉協議会、保健福祉課で対応しており、気兼ねなく相談できるように個室を準備して、相談に応じています。これから年末に向けて相談者が増えると考えられますので、町の広報やチラシの配布、ホームページ等で、周知に努めたいと考えています。

健康長寿を願って

質問 介護保険事業における市町村特別給付事業等の物価上昇分に対応した見直しは。

答弁 本町では、独自のサービスとして、紙おむつ購入費を支給しています。令和4年度は、2998件の利用がありました。今後は、価格動向や利用者の使用状況を調査して、現在の給付額を見直す検討を今年度中に進めます。

◆将来を見据えた健全財政計画ついて

質問 本町における今後の財政見通し、特に地方債返済が及ぼす財政全般に対する影響は。

答弁 今後予定されている大型事業の実施に当たっては、単年度に多額の事業費を確保する必要があります。その財源としては、町債を発行することにより、財政負担の平準化や世代間における負担の公平性が担保できると考えています。

また、昨年町独自に行いました健全化判断比率の推計では、大型事業が完了予定の令和8年度には、地方債残高、単年度の地方債償還額、実質公債費比率、将来負担比率いずれも、国の示す早期健全化基準を大幅に下回る見込みであることから、今後も健全な財政運営が維持できるものと考えています。

Q 高齢化が進み、町民の4割となる日が近い。高齢者ゴミ出し支援が必要

質問者の動画が見られます

A 自治体が直接行う支援型と、コミュニティ支援型の検討を進めます

増子美知夫（ましこみちお） 議員

◆国が半額補助する高齢者のゴミ出し支援の考えは

質問 本町もゴミ出しが困難な世帯が増えている。高齢者ゴミ出し支援の必要性について。

答弁 日常生活の支援を充実させる取り組みが必要であると考えています。支援を実施している自治体を参考に直接型とコミュニティ支援型を検討したいと考えています。

膝の関節痛でゴミを出すのも大変…

◆町の主要施策でもある若い世代の定住促進政策としての小規模宅地造成事業について

質問 地権者との調整や造成工事、分譲販売は、町が実施する事業ではないとのことだが、この事業の考え方について。

答弁 この小規模分譲地事業は、各地区に点在する宅地可能な土地について、町が実施するのではなく、地域連携型の事業という考え方です。現在のところ野木沢地区中野地内での事業化が見込まれています。

質問 これからも町内各地に宅地化が可能な土地があり、住民の機運が高まれば調査委託料を検討し少子化対策としてほしいが。

答弁 若い世代の定住移住政策は主要施策でもあります。小規模分譲地事業は、地域が主体となって地権者との調整を進め、町が測量調査など初期段階費用を宅地開発補助金により支援します。理解とご協力をお願いいたします。

要望 町外の近隣自治体では、分譲地13区画を造成販売したが、まだ5区画も残っており分譲地販売の厳しさも感じる。本町でも、現在、野木沢地区の中野地内で事業化が見込まれているが、多くの若い世代が住みたくなるような支援を要望します。

近隣自治体の分譲地販売が進まない5区画の状況

令和4年9月
定例会より

あれからどうなった？
一般質問のその後は

石川町道の駅整備事業基本協定締結について

令和5年9月7日に設計・建設・運営の優先交渉者となるTTCグループ（株式会社TTC、株式会社ヤマト）と石川町道の駅整備事業基本協定を締結しました。株式会社TTC（静岡県熱海市）は、商品開発や店舗企画開発、コンサルタントなどの事業を展開しています。

道の駅においては、全国で十数か所の運営に携わっており、各地で地元と連携しながら地域の特色を活かした商品開発や運営をしています。また、株式会社ヤマト（群馬県前橋市）は、設計・建設・空調設備等の事業を展開しており、道の駅まえばし赤城の設計・施工・運営をしています。今後はTTCグループと連携し、実績に基づくノウハウを活かして、令和7年度末の開業をめざします。

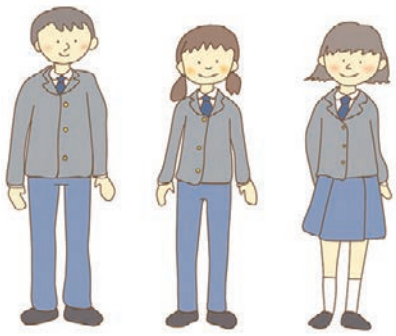
中学校における制服の選択制の導入

●生徒会等の中で話し合い、保護者、衣料組合等の理解も得ながら、検討していきたい。

その後、防犯や防寒、社会情勢への配慮、選択肢の幅を広げるなどとして、中学校内での話し合いがもたれました。現在、令和6年4月からの使用に向け、準備に入っています。

今後、保護者や関係機関への周知を図っていきます。

女子のスラックスタイプ導入については、防犯や防寒のほかに、人権上の配慮という点からも論議されてきています。さらに、生徒の目線で校則を見直す動きが、全国的に進んでいます。



報告します 議会の活動

福島県町村議会 議員研修会（10月23日）

郡山市のビッグパレットふくしまで開催された研修会では、東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏より、「議会改革・議会活性化のための議員活動」、ジャーナリスト・学習院シニアフェローの岩田公雄氏より、「これからの政局・政治の行方」について研修を受けました。

議会報告会実行委員会 先進議会調査（10月31日）

栃木県高根沢町議会を訪問し、カフェのような和やかな雰囲気のもとで議員と住民が肩を並べて意見交換を行う「カフェ・ド・ギカイ」を研修しました。

今後の議会報告会、各種団体との意見交換会を実施する際に取り入れていきたいと思います。

石川地方町村議会 議員研修会（11月７日）

玉川村のマーヴェラス末広で開催された研修会では、福島大学共生システム理工学類教授の川﨑興太氏より、「福島復興の到達点と展望」（福島原発事故からの12年間と復興に向けた課題）について研修を受けました。

未来に向かって・高校生の声

学校法人石川高等学校　3年　田子明花莉（たごあかり）

「私の将来の夢」

「私の将来の夢は、小学校の教師になることです。」そして、子どもたちが何かに興味を持ったり、行動を起こしたり、あるいは立ち直って進んでいけるきっかけを与えられる存在になりたいと思っています。私がこのように考えるようになったのも、様々な形で私の背中を押してくれた周囲の人の存在があったからです。

私は三年間、陸上競技部に所属し、三年次から主将として活動してきました。「全国高校駅伝優勝」を目標に活動する中で、何度も壁にぶつかり逃げ出したくなりました。しかし、どんな状況にあっても変わらず応援してくれる人、協力してくれる人がいること。また、それは決して当たり前のことではないと気付きました。将来は、何かに熱中することの楽しさや達成感、そして困難に直面した時、それを乗り越える経験が必ず自分に生かされるということを教師という立場から子供たちに伝えていけるように、これからも努力を続けていきたいです。

県高校駅伝競走大会で、学石女子陸上部キャプテンとして選手宣誓

編集後記

少子高齢化、大型公共事業が進む中、9月に定数14名の石川町議会選挙が行われ、6名の新人議員が誕生しました。新しい議会の活動と個々の議員の町政に対する思いを紙面でお伝えします。

根本重泰

議会を傍聴しませんか

12月定例会「一般質問」は12月11日（月）の予定です

広報常任委員会

委員長　根本　重泰
副委員長　増子美知夫
委員　迎　茂城
委員　水野谷常子
委員　星　恵子
委員　角田　保寿

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを経由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。

石川町議会　〒963-7893　福島県石川郡石川町字長久保185-4
TEL 0247(26)2116　FAX 0247(26)0324　https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/

令和5年12月1日発行
再生紙を使用しています